

2024年3月期 決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2024年4月24日

証券コード
6210

インデックス

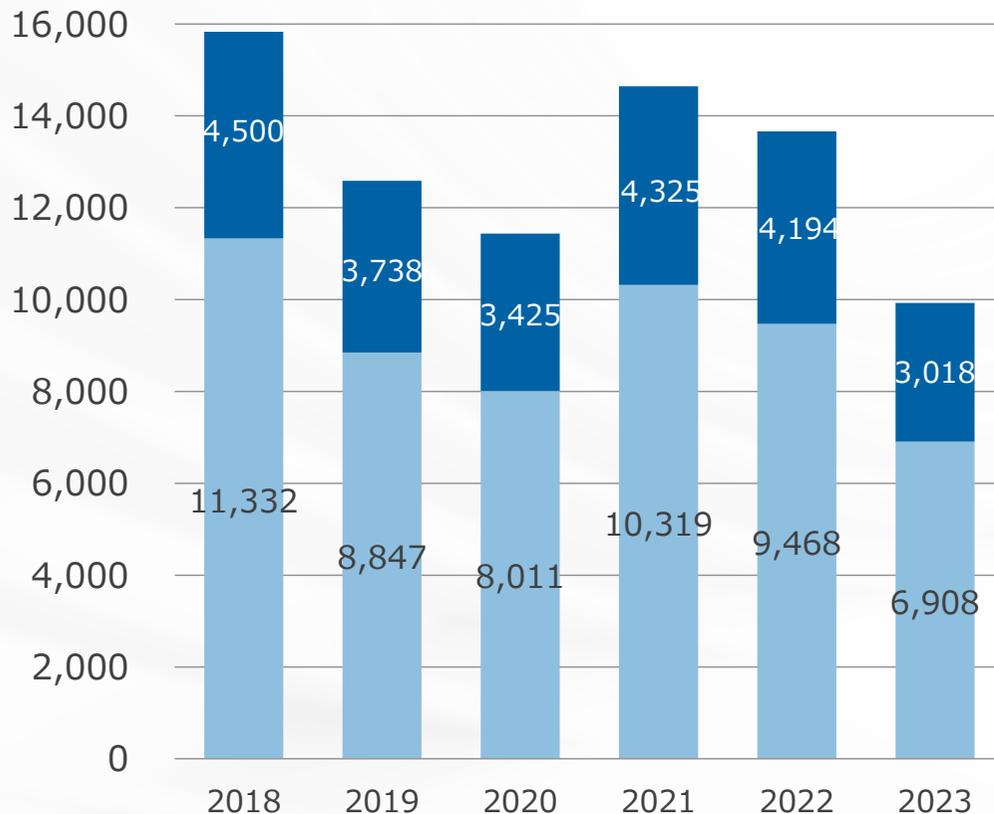
1. 2024年3月期 業績概要	2
2. 2025年3月期 業績予想	9
3. トピックス	15
4. 新・中期経営計画	17
5. <Appendix>	21

1. 2024年3月期 業績概要

事業環境の概要

景気は自動車関連を中心に回復の兆しがあるものの、金利高止まりや物価上昇等の影響を受け、射出成形機の需要は低調に推移

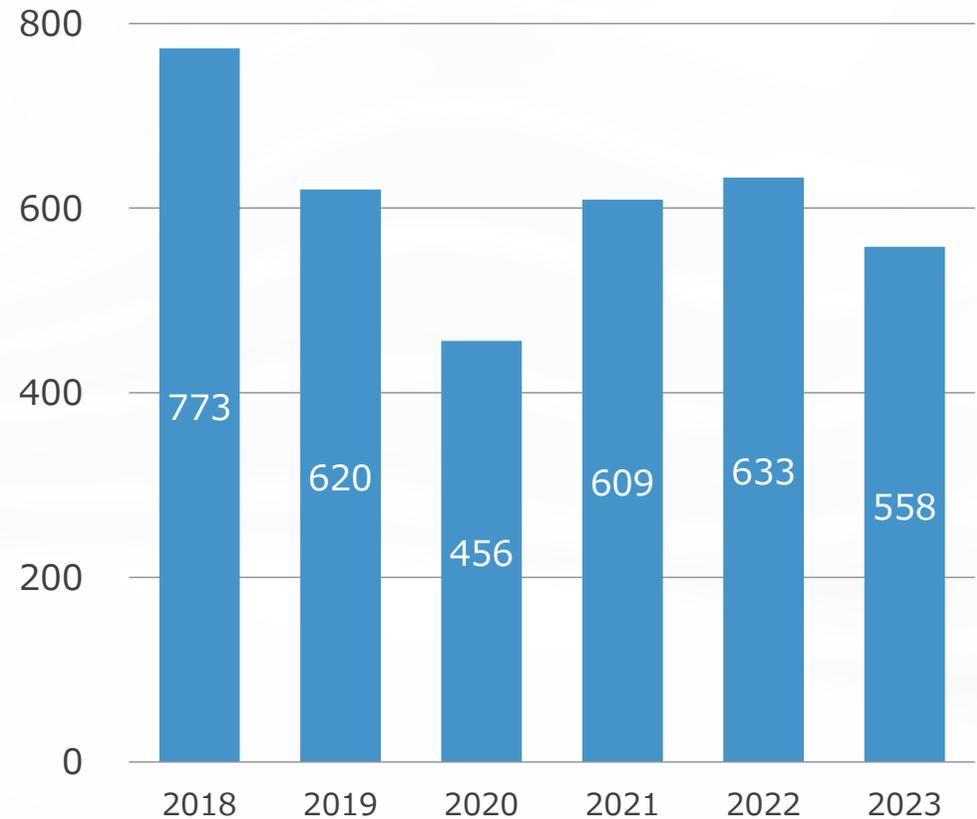
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

2024年3月期 経営成績

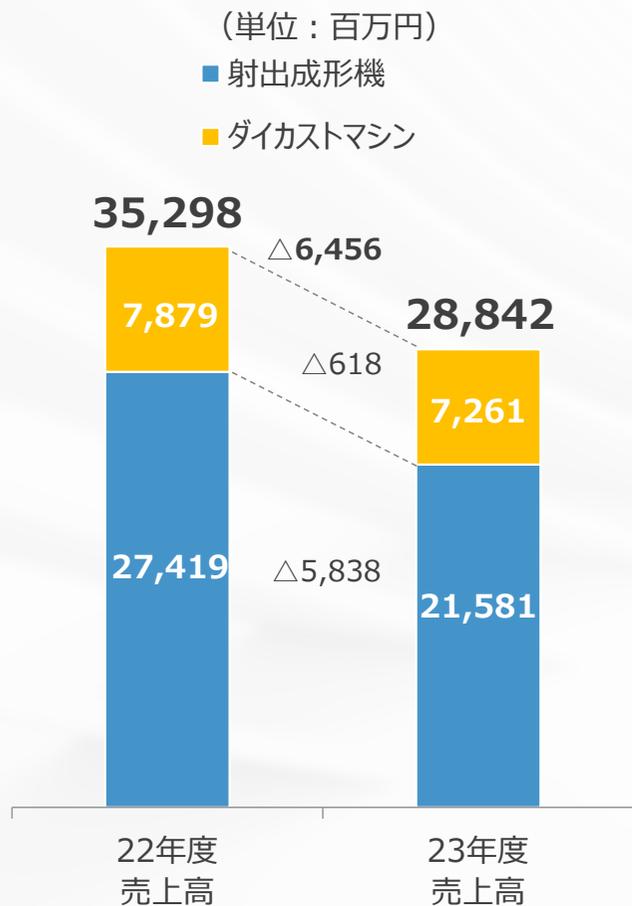
売上はアジアの自動車、生活用品関連向けに増加したものの、中国・米国・国内で減少
利益は売上物量減少や生産操業度低下、部材価格の高騰の影響により赤字となる

項目 (単位：百万円)	2022年度 実績	2023年度 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
受注高	31,211	26,537	△4,674	△15.0%
売上高	35,298	28,842	△6,456	△18.3%
営業利益	1,319	△119	△1,438	—
営業利益率	3.7%	△0.4%	△4.1P	—
経常利益	1,538	△64	△1,602	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	648	△1,293	△1,941	—
1株当たり当期純 利益	31.59円	△62.99円	△94.58円	—
<参考> 為替レート(USD)	134円	151円	+17円	+12.7%

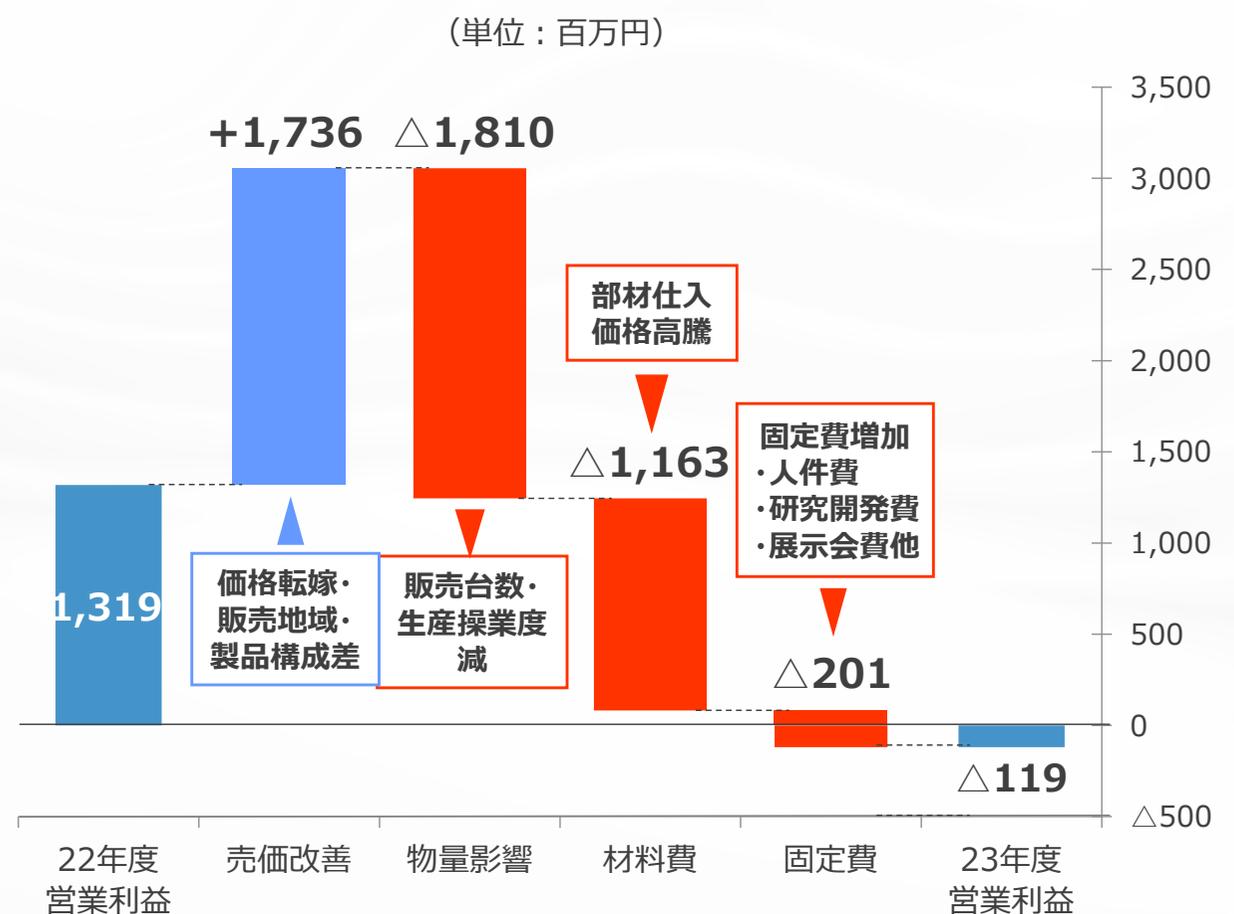
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は射出成形機及びダイカストマシン共に減少
 営業利益は販売台数・生産操業度減、部材仕入価格高騰が影響し、マイナスを計上

売上高



営業利益増減要因分析



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は265億円（前期比△46億円）、受注残高は66億円（前期比△23億円）

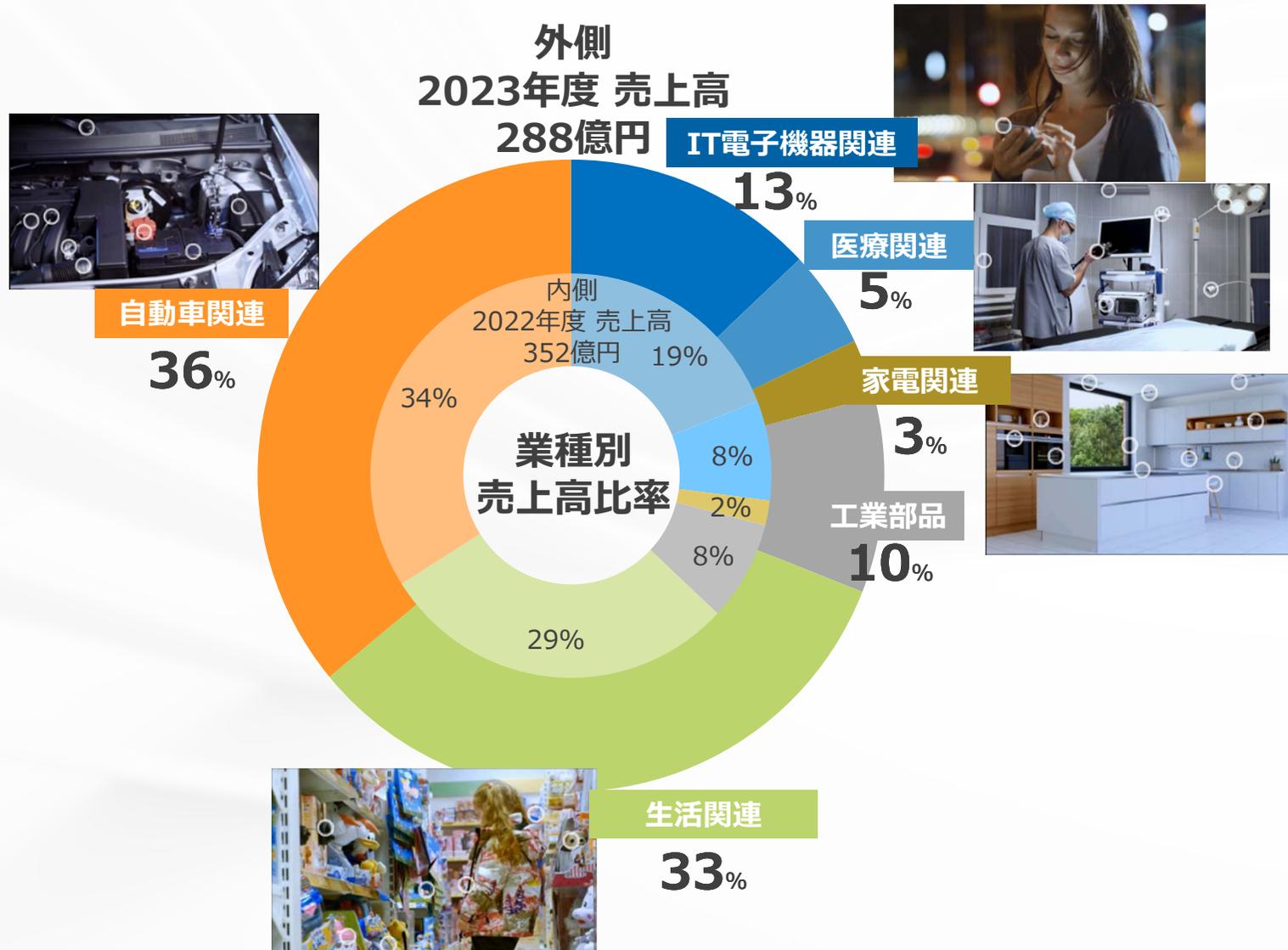
射出成形機 (単位:百万円)	2022年度 実績	構成比	2023年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	24,438	78%	19,451	73%	△4,987	△20.4%
(内、海外)	(17,710)	(72%)	(13,135)	(68%)	(△4,575)	(△25.8%)
売上高	27,419	78%	21,581	75%	△5,838	△21.3%
(内、海外)	(20,004)	(73%)	(15,481)	(72%)	(△4,523)	(△22.6%)
受注残高	6,297	70%	4,167	63%	△2,130	△33.8%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2022年度 実績	構成比	2023年度 実績	構成比	増減	増減率
受注高	6,773	22%	7,087	27%	+314	+4.6%
(内、海外)	(4,636)	(68%)	(4,978)	(70%)	(+342)	(+7.4%)
売上高	7,879	22%	7,261	25%	△618	△7.8%
(内、海外)	(5,823)	(74%)	(5,163)	(71%)	(△660)	(△11.3%)
受注残高	2,667	30%	2,493	37%	△174	△6.5%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

自動車や生活用品関連の比率は増加
IT電子機器や医療機器関連の比率は減少



【自動車関連】

国内・中南米向けの射出成形機が減少、中国向けのダイカストマシンが減少

【IT関連】

中国のスマートフォンやパソコン、その関連付属商品向けの小型射出成形機が減少

【生活関連】

欧州向けの中・大型射出成形機が増加

【工業製品】

中国向けの射出成形機・ダイカストマシンが増加

【家電関連】

南アジア向けの射出成形機が増加

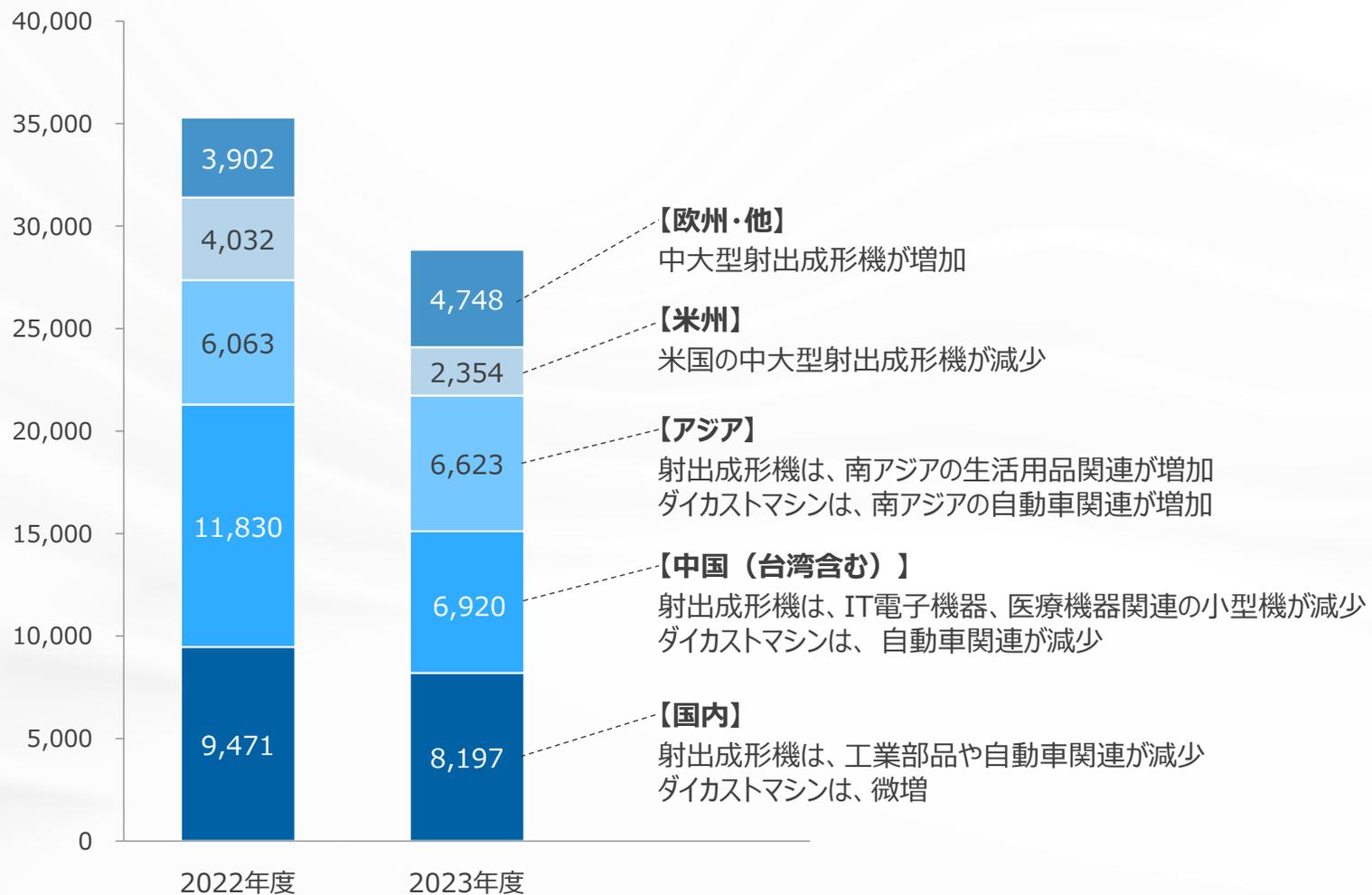
【医療関連】

中国向けの射出成形機が減少

地域別売上高の動向

アジア、欧州・他は増加したが、国内、中国、米州で減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 通期の業績予想

2024年度の通期見通しは、市場の動向は楽観視できない状況ではあるが、受注を増やし生産効率改善による短納期対応効果で営業利益は3億円を見込む

項目 (単位：百万円)	2023年度 実績	2024年度 予想	前期比 増減額	前期比 増減額
受注高	26,537	36,000	+9,463	+35.7%
売上高	28,842	31,000	+2,158	+7.5%
営業利益	△119	300	+419	—
営業利益率	△0.4%	1.0%	+1.4P	—
経常利益	△64	400	+464	—
親会社株主に帰 属する当期純利 益	△1,293	100	+1,393	—
1株当たり 当期純利益	△62.99円	4.87円	+67.86	—
<参考> 為替レート (USD)	151円	145円	△6円	△6円

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は360億円（前期比+94億円）、売上高は310億円（前期比+21億円）
受注残高は116億円（前期比+50億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2023年度 実績	構成比	2024年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	19,451	73%	26,000	72%	+6,549	+33.7%
(内、海外)	(13,135)	(68%)	(19,400)	(75%)	(+6,265)	(+47.7%)
売上高	21,581	75%	22,500	73%	+919	+4.3%
(内、海外)	(15,481)	(72%)	(16,000)	(71%)	(+519)	(+3.4%)
受注残高	4,167	63%	7,667	66%	+3,500	+84.0%

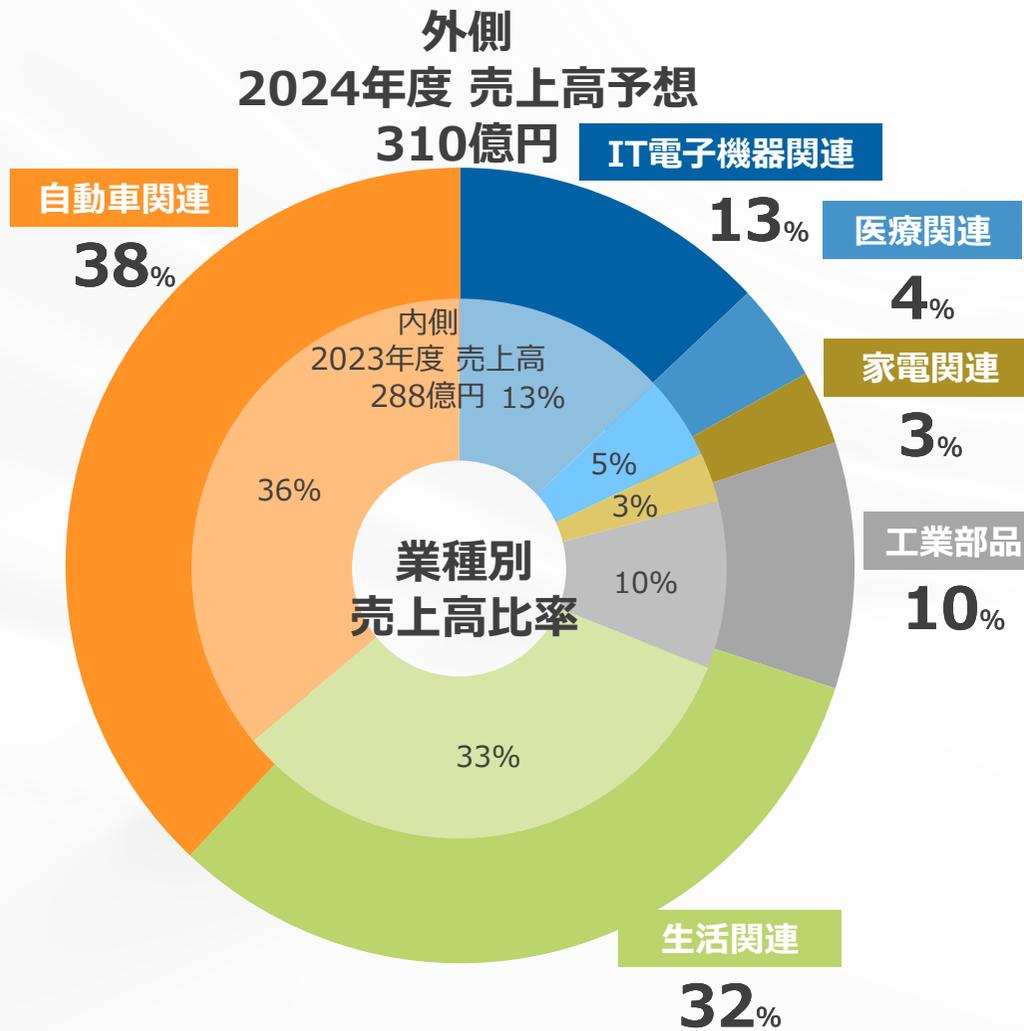
ダイカストマシン (単位:百万円)	2023年度 実績	構成比	2024年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	7,087	27%	10,000	28%	+2,913	+41.1%
(内、海外)	(4,978)	(70%)	(7,000)	(70%)	(+2,022)	(+40.6%)
売上高	7,261	25%	8,500	27%	+1,239	+17.1%
(内、海外)	(5,163)	(71%)	(5,900)	(69%)	(+737)	(+14.3%)
受注残高	2,493	37%	3,993	34%	+1,500	+60.2%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

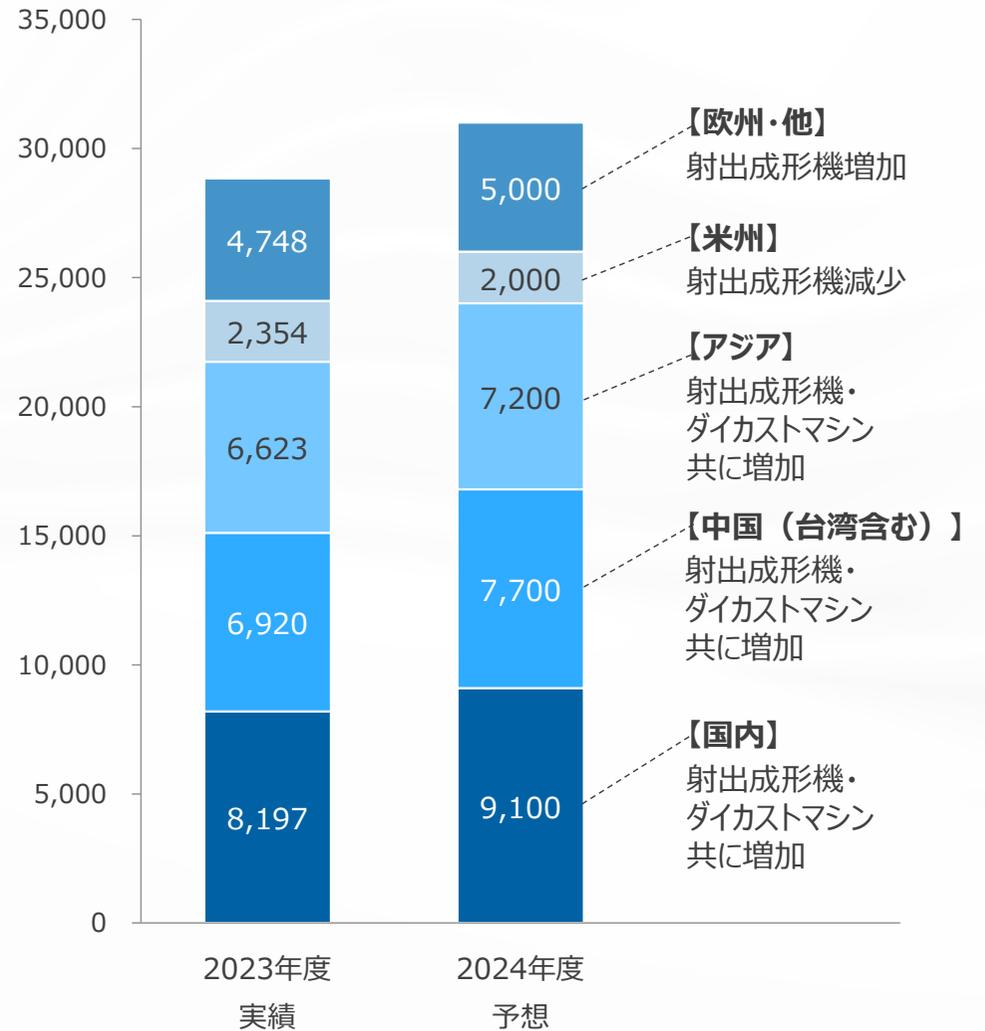
業種別では生活・医療関連、地域別では米州向けが減少する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想

(単位:百万円)



設備投資計画と減価償却費

今後3年間の投資総額は38億円であり、うち成長投資は26億円を計画

2023年度～2026年度までの主な生産設備投資計画

投資金額

国内明石工場

44億円

サービス物流センター新築
(24年1月完成稼働開始)

5

中・大型機生産組立工場増築
(25年3月完成予定)

11

成形イノベーションセンター(R&D)新設
(27年3月完成予定)

15

その他現有資産(有形・無形)維持・更新等(4年間)

13

中国常熟工場

6億円

第3期成形機生産組立工場と研究棟
(23年4月完成稼働開始)

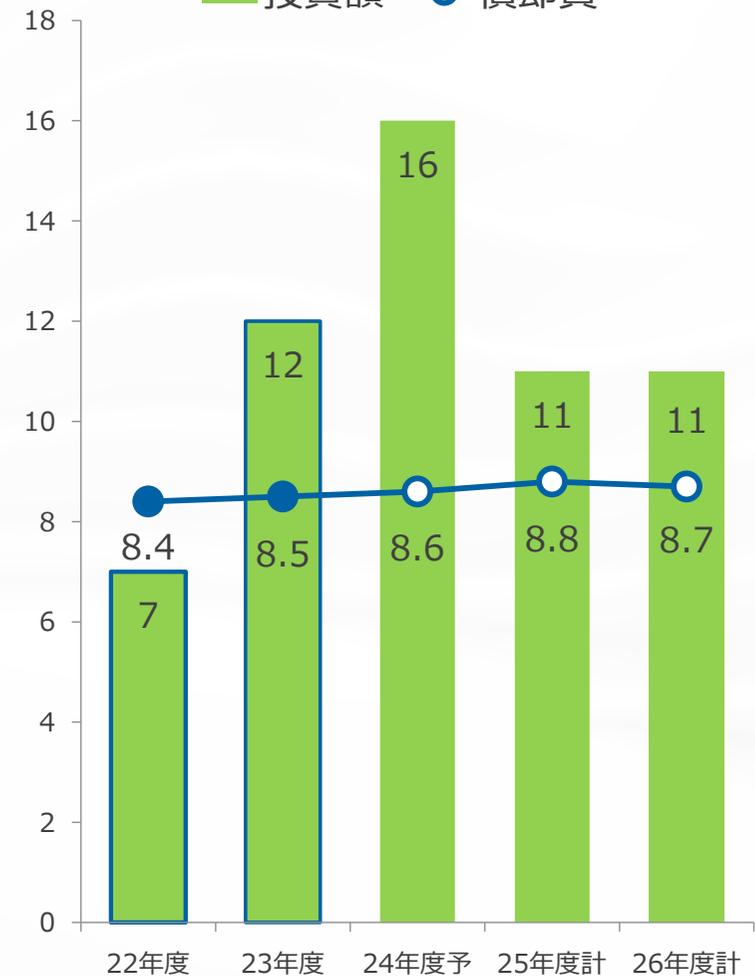
6

主な生産設備投資計画総額

50億円

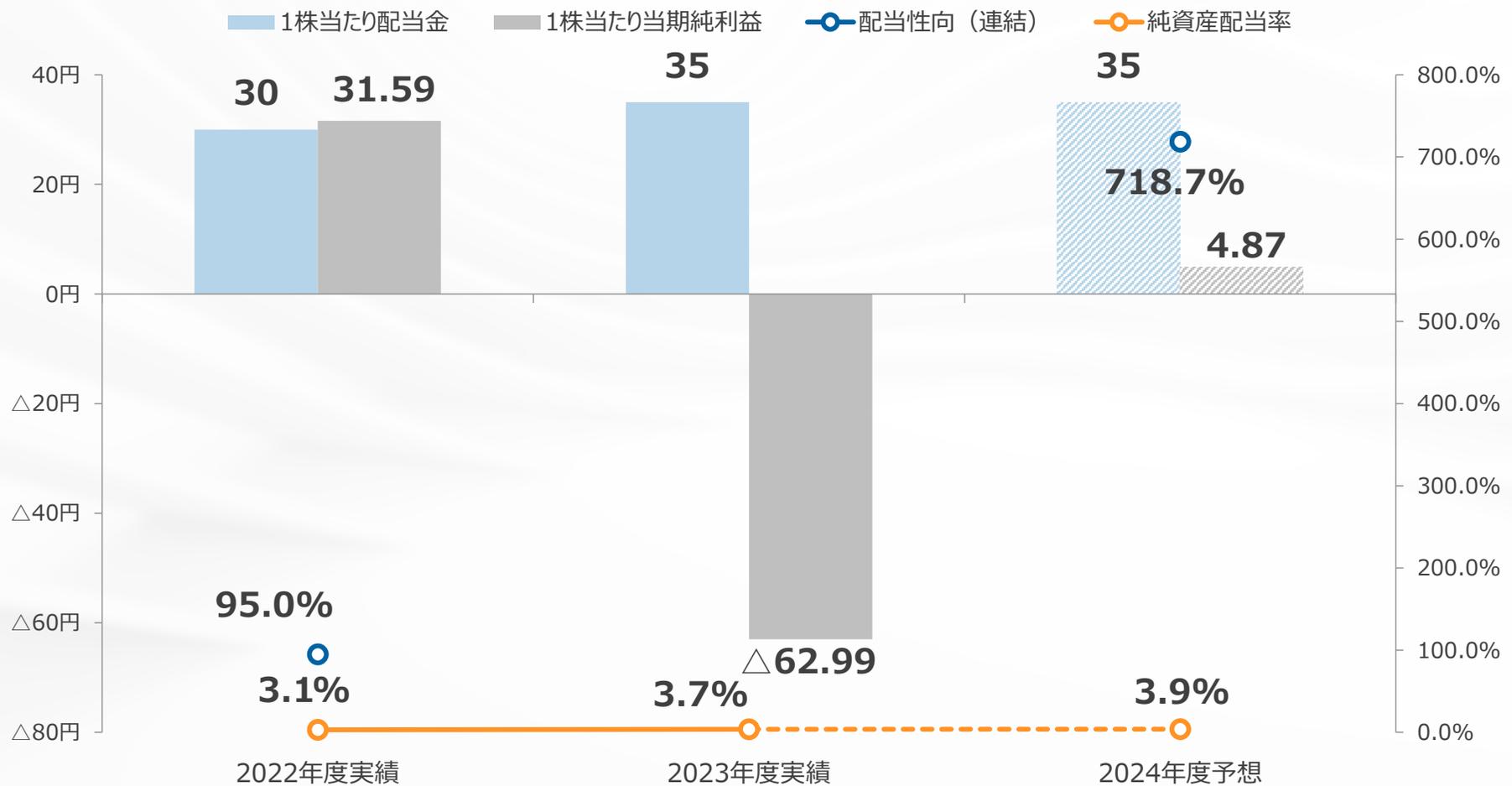
(億円)

■ 投資額 ○ 償却費



株主還元について

2023年度の配当金は、1株につき年間35円を実施
2024年度の配当金は、1株につき年間35円の実施を予定
BSマネジメント方針を基に資本コストと株価を意識した経営を実践し、株主還元を継続



3. トピックス

トピックス

サービス物流センター完成 ～2024年1月より稼働開始～



サービス物流センター外観（延床面積1,332㎡）



サービス物流センター内部（サービス部品倉庫）

- サービス物流センターに部品を集約し、部品収集のタイムロスを短縮
- 立体自動倉庫導入でサービス在庫の拡大と作業効率の改善で、顧客への納期短縮を図る

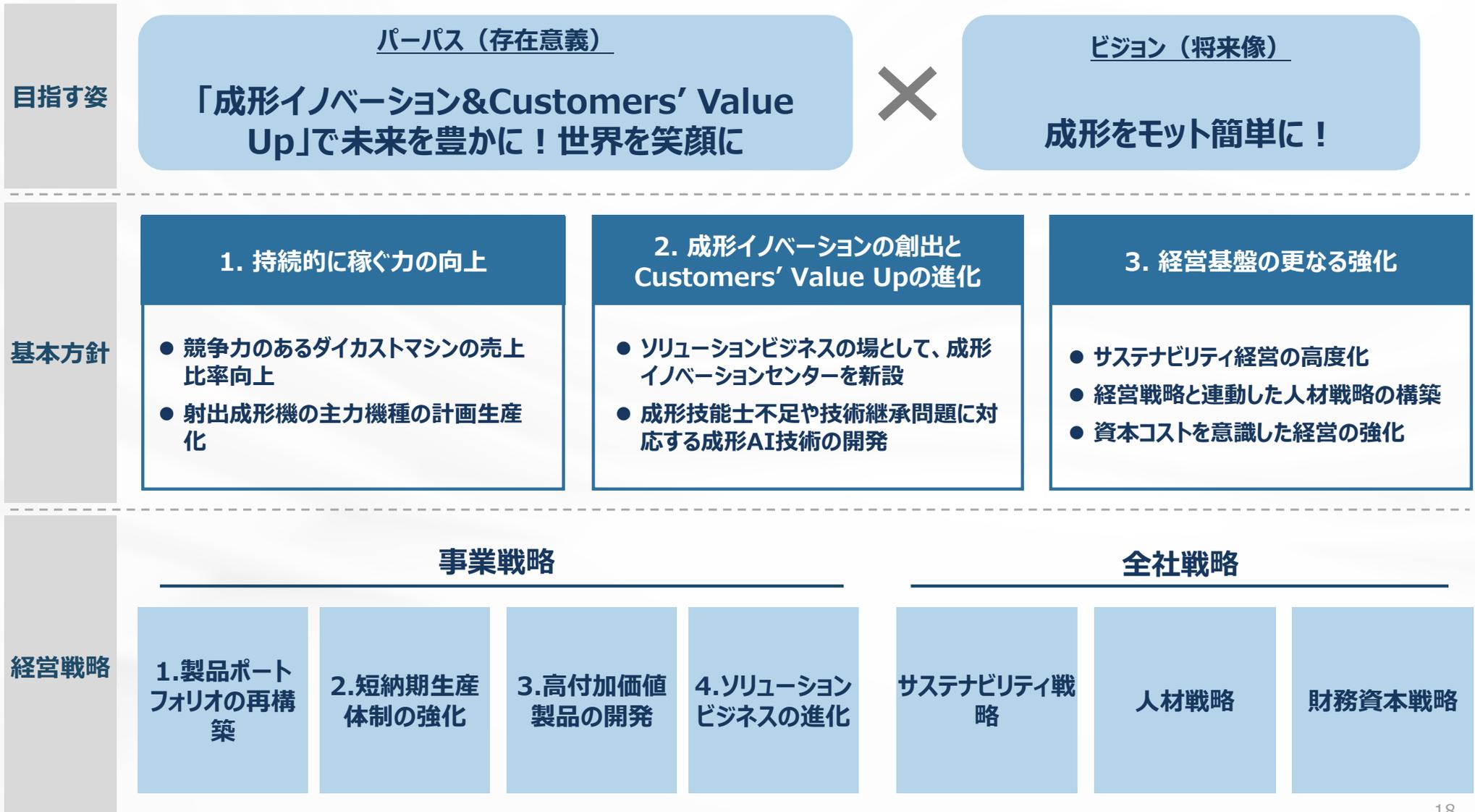


顧客への迅速なアフターサービス対応で顧客満足度を向上し、製品の拡販に繋げる

2024 - 2026
4. 新・中期経営計画

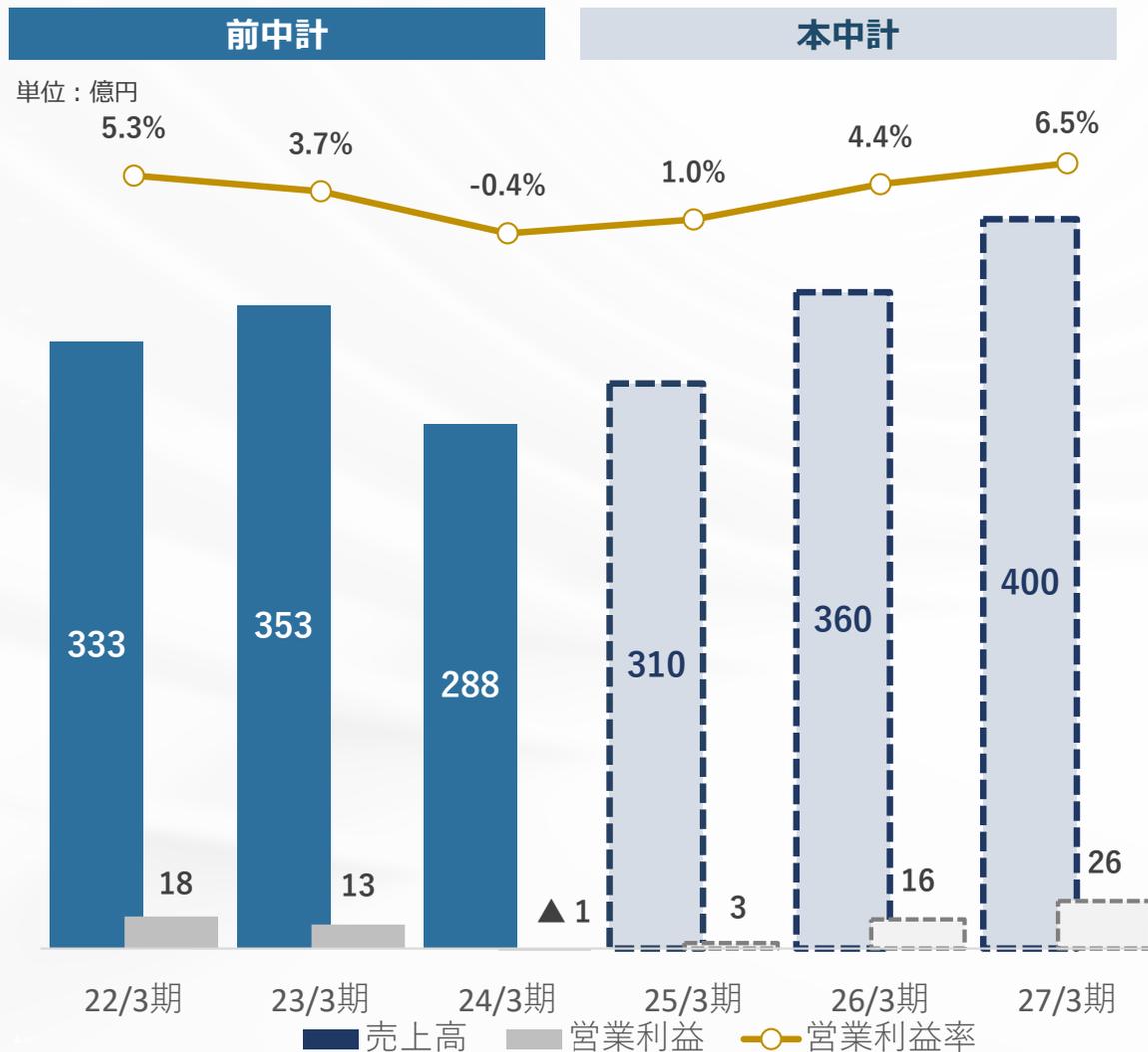
新・中期経営計画 全体方針

- パーパス・ビジョンの実現に向け、「1.持続的に稼ぐ力の向上」、「2.成形イノベーションの創出とCustomers' Value Upの進化」、「3.経営基盤のさらなる強化」を基本方針とします。



新・中期経営計画 経営目標

- 本中期経営計画の最終年度27/3期における経営目標は、売上高400億円、営業利益率6.5%、ROE8.0%とします。
- なお、自社の資本コストを上回るリターンの創出には、ROE8.0%以上の達成が必要と考えています。



27/3期 売上高目標

400億円

27/3期 営業利益率目標

6.5%
(約26億円)

27/3期 ROE目標

8.0%

**新・中期経営計画（2024 – 2026）
詳細については、以下のURLより参照ください。**

<https://www.toyo-mm.co.jp/wp-content/themes/toyomm/pdf/fia/2024tyukei.pdf>

4. Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部 (単位:百万円)	23/3末 実績	24/3末 実績	増減	コメント
流動資産	23,731	21,912	△1,819	受取手形及び売掛金が15億円減少、現金及び預金が3億円減少したこと等により、流動資産は18億円減少。
現金及び預金	6,502	6,167	△335	
受取手形及び売掛金	8,452	6,889	△1,563	
棚卸資産	7,391	7,548	+157	
固定資産	8,170	8,149	△21	有形固定資産が1億円増加しましたが、無形固定資産、投資その他資産が減少したこと等により、固定資産は0億円減少。
有形固定資産	6,404	6,508	+104	
無形固定資産	438	397	△41	
投資その他資産	1,327	1,243	△84	
資産合計	31,901	30,062	△1,839	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	23/3末 実績	24/3末 実績	増減	コメント
負債合計	11,916	11,478	△438	有利子負債が3億円増加しましたが、買掛金等の仕入債務が9億円減少したこと等により、負債合計は4億円減少。
支払手形及び買掛金	5,363	4,393	△970	
有利子負債残高	1,960	2,260	+300	
純資産合計	19,985	18,584	△1,401	前期の期末配当や当期の中間配当、親会社株主に帰属する当期純損失に係る利益剰余金が減少したこと等により、14億円減少。
負債純資産合計	31,901	30,062	△1,839	

キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュフローは1億円の収入となり、前期比+9億円

(単位:百万円)	2022年度 実績	2023年度 実績	増減	変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	256	552	+296	売上債権の減少や有形固定資産減価償却費などにより、5億円の収入。
投資活動による キャッシュ・フロー	△565	△643	△78	有形固定資産の取得などにより、支出が前期5億円から6億円に増加。
財務活動による キャッシュ・フロー	△470	△370	+100	配当金の支払いや長期借入金の返済などにより3億円の支出。
現金及び現金同等 物に係る換算差額	137	125	△12	
現金及び現金同等 物の増減額	△641	△335	+306	前期6億円のマイナスから今期は3億円のマイナス。
現金及び現金同等 物の期首残高	7,143	6,502	△641	
現金及び現金同等 物の期末残高	6,502	6,167	△335	61億円となり、前期から3億円の減少。

財務データ（時系列）

項目		2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
売上高	(百万円)	30,453	24,870	33,273	35,298	28,842
営業利益	(百万円)	1,427	△211	1,760	1,319	△119
経常利益	(百万円)	1,439	△101	1,970	1,538	△64
当期純利益	(百万円)	870	△244	1,277	648	△1,293
包括利益	(百万円)	784	△136	1,715	1,050	△739
売上高営業利益率		4.7%	△0.8%	5.3%	3.7%	△0.4%
売上高経常利益率		4.7%	△0.4%	5.9%	4.4%	△0.2%
売上高当期純利益率		2.9%	△1.0%	3.8%	1.8%	△4.5%
現金及び預金	(百万円)	5,054	7,183	7,143	6,502	6,167
借入金・社債	(百万円)	1,200	960	1,760	1,960	2,260
純資産額	(百万円)	18,370	18,130	19,595	19,985	18,584
総資産額	(百万円)	28,130	28,578	31,141	31,901	30,062
自己資本比率		64.3%	62.4%	62.0%	61.5%	60.3%
自己資本当期純利益率		5.0%	—	6.9%	3.3%	—
配当性向		35.2%	—	40.2%	95.0%	—
役員・従業員数		762人	780人	778人	774人	767人

製品別・地域別データ（時系列）

製品別売上高推移（百万円）	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
射出成形機	23,824	19,606	25,961	27,419	21,581
ダイカストマシン	6,629	5,264	7,312	7,879	7,261

地域別売上高推移（百万円）	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
国内	10,821	6,904	8,743	9,471	8,197
中国	7,662	10,061	13,275	11,830	6,920
アジア	5,016	3,664	5,390	6,063	6,623
米州	2,951	2,237	2,626	4,032	2,354
欧州他	4,003	2,004	3,239	3,902	4,748

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customers' Value Up

～お客さまの価値向上をめざす～

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室
TEL. (078) 942-2345 (代表)
FAX. (078) 943-7275
URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>